



中軽井沢のまちづくりに果たす役割

① まちの回遊を促す緑の回廊をつくる

■離山の地勢軸を敷地に最大限に引き込む
地勢軸上に豊かな「逍遙の森」をできるだけ広く取ることで、そのなかに佇む建築をつくります

■「逍遙の森」が中軽井沢をウォークラブルにつなぐ
「逍遙の森」が中軽井沢の骨格となり、中軽井沢駅・沓掛の街・長倉神社と繋がる、まちの回遊をつくります

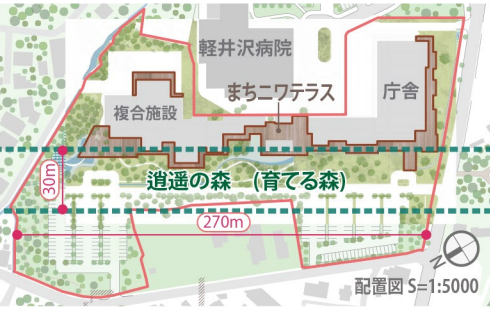


中軽井沢のまちづくりに果たす役割

② 町民に開かれた交流の場“まちニワテラス”

■まちニワテラス：すべての町民がつながる場所
庁舎・複合施設と「逍遙の森」をつなぐ“まちニワテラス”は、全ての町民の開かれた交流の場となります

■軽井沢の自然を身近に感じるテラス
高原保養の環境を身近に感じるリラックスした環境により、町民や別荘住民、行政との交流が活性化します



中軽井沢のまちづくりに果たす役割

③ 地域コミュニティを醸成する場所

■町民の“自治”を育むサロンにする
カフェや観光、コワーキング等、町民や別荘住民、行政が手を携えて活動する場づくりを行います

■町民自らがつくり育てる「逍遙の森」
町民と植林活動や草刈りなど「育てる森」として整備することで、まちづくりのシンボルの場にします

